

「ハナミズキのみち」に込めた思い

震災から8年、息子さんの願いを咲かせた『ハナミズキの避難路』



講師：浅沼 ミキ子 氏

(絵本「ハナミズキのみち」著者)

インタビュー、朗読：原田 真裕美 氏

(FMゆーとぴあパーソナリティ)

日時：7月10日(水)

14:15~15:00

会場：黒羽小学校体育館

2011年3月11日に起きた「東日本大震災」でたくさん
のものを失いました。その後、新たなものも生み出され
ています。講演会では、絵本の著者浅沼ミキ子さんをお
迎えし、震災での体験談等をお話していただきます。



シンボルロード「ハナミズキのみち」完成記念碑除幕式(2019年5月12日)



— プロフィール —

浅沼ミキ子 (あさぬま みきこ)

地震直後に25歳の長男・健(たける)さんに出会っているものの、遊びに来ていたお孫さんと娘さんのいる自宅へ自身は戻り、健さんは職務遂行のため市指定の避難場所である市民会館へ向いましたが、健さんと再会したのは、十日後の遺体安置所でした。

その悲しみを乗り越えるため、2年の歳月をかけて絵本『ハナミズキのみち』が誕生しました。その後、街路にハナミズキを植えて高台への避難を訴える活動をされています。